

学校と家庭が連携して学力向上を目指しましょう!

学校での学習内容をしっかり定着させ、学力を向上させるためには、家庭での学習が不可欠です。また、お子さんに家庭学習の習慣を身に付けさせるためには、保護者の皆様の温かいサポートが必要です。「家庭への3つのお願い」にご協力いただき、学校と家庭が連携しながら子供たちの学力向上を目指しましょう。

家庭へのお願い① → 学習時間の確保



<家庭学習時間のめやす> 10分×学年+10分以上

- 1年生～20分以上
- 2年生～30分以上
- 3年生～40分以上
- 4年生～50分以上
- 5年生～60分以上
- 6年生～70分以上

平日、家庭で学習する時間(宿題、自主的な家庭学習など)のめやすです。発達段階に応じて少しずつ時間を増やしていきましょう。毎日机に向かう時間帯を決め、集中して取り組めるよう環境を整えることも大切です。最初は、習慣が身に付くまで近くにいて見守ったり、声をかけてあげたりしてください。特に低学年は、一緒に考えたり、音読を聞いてあげたりすることも必要です。お子さんのがんばりを認めて、やる気を高めましょう。

家庭へのお願い② → ストップ・ザ・見放題!



<時間を有効に使いましょう>

昨年までに実施した「生活リズムチェックシート」の保護者コメント欄には、「テレビを見たりゲームをしたりしている時間が意外に長いことに気付いた。」という記述が多く見られました。前述の「学習時間の確保」をするだけでなく、習い事をしたり、家族の団らんをしたりするためには、テレビやゲームの時間を限定し、時間を生み出さなければなりません。お子さんと相談をして、時間帯や曜日を決めましょう。

家庭へのお願い③ → 家読のすすめ



<読書に親しむ環境を作りましょう>

「家で本を読む習慣があるか」という質問に対し「毎日」「時々」答えている児童を合わせると約7割となり、本校児童の読書への関心は高いようです。しかし、読書量の個人差は大きく、学年が上がるにつれて読書に割く時間が減るという傾向も見られます。文章を読んで内容を理解したり、本に書かれている世界に興味をもったりすることは、学習の基礎を培う上でも豊かな情操を養う上でも、とても大切なことです。お子さんの興味に合わせた本を薦めたり、親子で同じ本を読み合って感想を話し合ったりするなど、家庭で本とふれあう機会を作りましょう。